

昭和十四年六月二十一日會議議案



昭和十四年六月廿一日 決議
昭和十四年七月一日 公布
勅令第四二四號

臺灣總督府官制中改正ノ件

参照添附

勅令第 號

臺灣總督府官制中左ノ通改正ス

第十七條第一項中「五局」ヲ「六局ニ、殖産局

ヲ「殖産局ニ改ム

同條ニ左ノ一項ヲ加フ

總督ハ米穀局ニ米穀事務所及其ノ出

張所ヲ置キ米穀局ノ事務ヲ分掌セシ

ムルコトヲ得

第十九條第一項中「局長 五人」ヲ「局長
六人」ニ「事務官 專任三十三人」ヲ「事務官
專任三十六人」ニ「理事官 專任六人」ヲ
「理事官 專任十一人」ニ「技師 專任四十
六人」ヲ「技師 專任五十五人」ニ「屬 專任
二百四十人」ヲ「屬 專任三百二十五人」ニ

台二

「技手 專任百六十二人」ヲ「技手 專任三
百九人」ニ改ム

第三十三條中「及度量衡所」ヲ「度量衡所、米
穀事務所及米穀事務所出張所」ニ改ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十四年十月三十一日迄ハ第十九條

第一項ノ改正規定ニ拘ラズ技師ハ專任
五十四人、屬ハ專任三百二十四人、技手ハ
專任二百十五人ヲ以テ定員トス

参照

○臺灣總督府官制

明治三十年
勅令第百六十二號

第十七條 總督府ニ總督官房ノ外左ノ五局六

局ヲ置ク

内務局

文敬局

財務局

殖産局

米穀局

警務局

(中略)

總督ハ米穀局ニ米穀事務所及其ノ出張所ヲ
置キ米穀局ノ事務ヲ分掌セシムルコトヲ得

第十九條 總督府ニ左ノ職員ヲ置ク

總務長官 勅任

局長 五人 勅任

事務官 專任三十三人 三十六人 奏任内二人ノ勅任ト
爲スコトヲ得

理事官 專任六人 十一人 奏任

(中略)

技師 專任四十六人 五十五人 奏任内一人ノ勅任ト
爲スコトヲ得

(中略)

屬 專任二百一人 二百三十五人 判任

(中略)

技手 專任百六十二人 三百九人 判任

(下略)

第二十一條 局長ハ總督及總務長官ノ命ヲ承
ケ其ノ主務ヲ掌理シ及局中各課ノ事務ヲ指

揮監督ス

第二十五條 事務官及理事官ハ上官ノ命ヲ承
ケ總督官房及各局ノ事務ヲ掌ル

第二十七條 技師ハ上官ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌

ル
技師ハ上官ノ命ヲ承ケ總督官房及各局ノ事務ヲ助ク

第三十條 屬技手及通譯ハ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務技術通譯ニ從事ス

第三十三條 國民精神研修所、獸疫血清製造所、營林所、營林所出張所、度量衡所、米穀事務所及米穀事務所出張所ノ名稱及位置ハ總督之ヲ定ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十四年十月三十一日迄ハ第十九條第一項ノ改正規定ニ拘ラズ技師ハ專任五十四人、屬ハ專任三百二十四人、技手ハ專任二百十五人ヲ以テ定員トス

參照

臺灣總督府官制中改正案說明書

説明書

一、米穀局ノ設置

(一) 本局ノ設置

臺灣産業ノ現況ニ鑑ミ島内ニ於ケル米價ヲ適正ナラシメ以テ重要産業ノ調和的發達、農業經營ノ安定改善ヲ圖ルト共ニ我國食糧問題ノ解決ニ寄與セシムルノ緊要ナルヲ認メ今回臺灣總督府ニ於テ臺灣米ノ移出ヲ管理シ移出ヲ目的トスル米穀ノ買入及賣渡ヲ行ヒ而シテ本事業ヨリ生ズル益金ハ之ヲ農業ノ調整、開發及助長ノ施設ニ充當セントス然ルニ米穀移出管理ノ内容ハ複雑廣汎ニ互リ之ガ運用ノ如何ハ臺灣産業經濟ノ消長、島民ノ利害休戚、國家財政ノ安危ニ關スル所大ナルモノアルニ鑑ミ之ニ關スル機構ハ相當ノ組織規模ヲ必要トス

而シテ從來臺灣總督府ニ於ケル米穀ニ關スル事務ハ

殖産局米穀課ニ於テハ

米穀統制法及米穀自治管理法ノ施行ニ關スル事項

米穀關係團體及農業倉庫業ニ關スル事項

米穀資料調査ニ關スル事項

同 商工課ニ於テハ

正米市場ニ關スル事項

米穀取引ニ關スル事項

米穀検査ニ關スル事項

米穀ノ加工、包装及貯藏ノ指導ニ關スル事項

同 農務課ニ於テハ

米作ニ關スル事項

ヲ分掌シ來レリ然ルニ現在ノ殖産局ハ既ニ七課ノ外營林所等ノ附屬機關ヲ包擁シ此ノ上更ニ今回ノ米穀移出管理事務ヲ所管セシムルニ於テハ殖産局ノ規模愈々複雑膨大ニ過グルノ嫌アリ一面米穀移出管理業務ノ迅速適確ナル處理ニ支障ナカラシムルノ要アルニ鑑ミ殖産局ノ外ニ新ニ米穀ニ關スル事務ヲ一括所管スル米穀局ヲ設置セントス

然レ共米穀移出管理ノ根本目標ハ臺灣産業ノ調和的發達ヲ圖ルニ在ルヲ以テ機構上ニ於テモ産業調整ニ關シ充分ノ考慮ヲ拂ヒ米作ト米以外ノ作物トノ間ニ於テ生産計畫、生産實施等ニ關シ政策ノ調和ヲ保持スルト共ニ米穀移出管理特別會計剩餘金ノ圓滿ナル運用ニ支障ナカラシムルヲ要ス此ノ見地ニ於テ從來殖産局ニ於テ所管スル米作ニ關スル事務ハ其ノ儘同局ニ存置シ米穀局ニ於テハ其ノ他ノ米穀ニ

關スル左記事務ヲ所管セシメ更ニ殖産局トノ間緊密ナル連繫ヲ保持セシムル爲之ヲ臺灣總督府ノ内局ト爲セントス

(イ) 米穀統制法及米穀自治管理法ノ施行ニ關スル事項

(ロ) 臺灣米穀移出管理令ノ施行(米穀検査及米穀資料調査ヲ含ム)

ニ關スル事項

(ハ) 右事務ニ關係アル米穀輸出検査、米穀關係團體、農業倉庫業、

米穀取引、米穀ノ加工包装貯藏ノ指導等ニ關スル事項

(ニ) 米穀事務所及同出張所ノ設置

米穀移出管理實施ニ伴ヒ地方ニ於ケル米穀ノ買入及同検査、政府米ノ輸送貯藏及引渡、島内消費米ノ費渡、輸出水ノ検査等ニ關スル事務ヲ分掌スベキ機關ヲ必要トスルヲ以テ米穀局ノ下ニ米穀事務所及其ノ出張所ヲ設置セントス而シテ米穀事務所ハ米穀ノ主要集散地タル

基隆市、新竹市、臺中市、嘉義市、高雄市及花蓮港街ノ六箇所ニ設置シ又同出張所ハ米穀ノ主要生産地十一箇所ニ設置セントス

二、米穀局ノ分課

米穀局ノ事務ヲ其ノ性質及量ヨリ考慮シ區分スルトキハ

(イ) 人事、文書其ノ他ノ庶務、米穀移出管理特別會計ノ經理其ノ他總務の事項

(ロ) 米穀統制法及米穀自治管理法ノ施行、米穀移出管理ニ關スル現業以外ノ事務其ノ他米穀政策の事項

(ハ) 米穀移出管理ニ關スル現業の事項

ニ三大別スルコトヲ得依テ米穀局ノ分課ハ總務課、米政課及業務課ノ三課トス

三、米穀局ノ職員

(一) 所要職員

米穀局設置ニ伴ヒ本局、米穀事務所及同出張所ニ配置スベキ職員トシテ局長一人、事務官四人、理事官五人、技師十人、屬八十七人及技手百五十人ヲ必要トス

而シテ事務官四人ハ總務課長、米政課長、業務課長及米政課米政係總括ニ充當シ理事官五人ハ總務課經理係總括、業務課購買係總括、同販賣係總括並ニ基隆及高雄米穀事務所長ニ充當シ技師十人ハ米政課調査第一係總括、同調査第二係總括、業務課管理係總括、同輸送係總括、同検査係總括並ニ基隆新竹臺中嘉義及高雄ノ五米穀事務所ニ於ケル技術ノ總括(新竹臺中及嘉義米穀事務所ニ在リテハ所長ヲ兼務ス)ニ充當シ屬及技手ハ別表ノ通配置セントス

(二) 職員ノ振替及増員

米穀局ノ所要職員ハ右ノ如クナルモ從來米穀ニ關スル事務ニ從事スル臺灣總督府官制中ノ既存定員トシテ米穀自治管理法施行ニ關スルモノ事務官一人、技師一人、屬一人及技手三人並ニ米穀統制資料調査ニ關スルモノ屬一人アリテ之ヲ米穀局職員ニ充當シ得ベキヲ以テ之ヲ差引キ局長一人、事務官三人、理事官五人、技師九人、屬八十五人及技手百四十七人ヲ増員セントス

更ニ右増員中ニハ臺灣總督府部内臨時職員設置制中ヨリ振替フル移出米検査、米穀移出統制及米穀統制資料調査ニ關スル事務ニ從事スル技師三人、屬三人及技手九十六人ヲ包含スルヲ以テ差引新規増員ハ局長一人、事務官三人、理事官五人、技師六人、屬八十二人及技手五十一人トス

昭和十三年十一月

臺灣米穀移出管理要綱

目次

臺灣米穀移出管理要綱 (臺灣重要産業調整委員會答申) 一

(参考)

- 一、臺灣重要産業調整委員會諮問第一號 九
- 二、臺灣重要産業調整委員會第一回總會ニ於ケル臺灣總督ノ挨拶 一三
- 三、臺灣米穀移出管理案ニ關スル説明 一九

臺灣米穀移出管理要綱
(臺灣重要産業調整委員會答申)

答 申

臺灣米ノ移出管理ハ島内ニ於ケル重要産業ノ調和的發展、農家經濟ノ安定向上及臺灣特有ノ産業的使命ノ達成ヲ圖ルト共ニ我國食糧問題ノ解決ニ寄與スルヲ以テ其ノ目的ト爲スヲ要スベク之ガ爲ニハ左記要綱ニ依ルヲ適當ト認ム

臺灣米穀移出管理要綱

一 買 入

- 一、移出セラルベキ米穀ハ總テ臺灣總督府ニ於テ買入ルモノトス
- 二、臺灣總督府ノ所有スル米穀又ハ臺灣總督府ヨリ賣渡シタル米穀ニ非ザレバ移出スルコトヲ得ザルモノトス

三、米穀ノ買入ハ支米ヲ以テ之ヲ爲スモノトス但シ必要ニ應ジ白米又ハ粳ヲ以テ買入ルルモノトス

四、米穀ノ買入ハ申込ニ應ジ検査ノ上合格シタルモノニ付等級ヲ附シ之ヲ爲スモノトス但シ島内ニ於テ消費セラルベキ米穀ニ不足ヲ生ズルノ虞アル場合ハ賣渡ノ申込ニ應ゼザルコトヲ得ルモノトス

二 買入價格

一、買入價格ハ生産費、物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ種類、銘柄、等級別ニ移出港渡ノ價格ニ付之ヲ決定シ告示スルモノトス

二、買入價格ハ第一期作及第二期作別ニ其ノ作付準備前ニ之ヲ發表スルモノトス但シ物價ノ變動著シキ場合又ハ内外地ノ米穀需給狀況ニ異常ナル變動ヲ生ジ若ハ生ズルノ虞ア

ル場合ニ於テハ之ガ改定ヲ爲スコトヲ得ルモノトス

三、買入米ノ買付調節ノ爲買入價格ニ金利、保管料及目減品傷ニ對スル補償料ヲ加算スルモノトス

四、買入代金ハ買入價格ヨリ移出港ト買入場所間ノ運賃諸掛ヲ控除シタルモノトス

三 移 出

一、臺灣總督府ハ豫メ農林省ト協議シタル内外地ノ需給推算ニ基キ一定年次ノ米穀ノ生産目標ヲ樹ツルモノトス

右ニ依リ生産シタル米穀ノ移出ニ付テハ總督府ハ農林省ト協議ノ上各期作毎ニ豫メ過去ノ月別移出狀況ヲ參酌シテ月別移出計畫ヲ樹ツルモノトス

二、月別移出計畫ヲ定ムルニ當リ年移出總數量ハ原則トシテ之ヲ限定セザルモノトス但シ

内外地ノ米穀事情ニ異常ナル變動アリタル場合ハ雙方協議ノ上之ガ對策ヲ講ズルモノトス

六

四 販 賣

- 一、臺灣總督府ハ月別移出計畫ニ基キ米穀ヲ移出スルニ當リ其ノ販賣ハ之ヲ農林省ニ委託スルモノトス
- 二、農林省ハ臺灣總督府ヨリ委託セラレタル米穀ノ販賣ハ總テ之ヲ特殊販賣機關ヲシテ代行セシムルモノトス
- 三、前項ノ特殊販賣機關ノ組織ニ當リテハ現在ノ臺灣米移出業者ヲ包含セシムルモノトス
- 四、臺灣米ノ販賣ヲ代行スル特殊販賣機關ハ時價ニ依リ原則トシテ現在ノ臺灣米移入業者ニ販賣スルモノトス

五 會 計

- 一、移出管理ニ關スル收支ヲ明カニシ事業ノ圓滑ヲ期スル爲特別會計ヲ設置スルモノトス
- 二、本會計ノ過剰金ハ農業ノ調整、開發及助長ノ經費竝ニ損失アル場合ノ補填ニ之ヲ充ツルモノトス

六 其 ノ 他

- 一、臺灣總督府ハ島内ニ於ケル米穀ノ需給調節上必要アリト認ムルトキハ島内ニ於ケル消費ノ用ニ供スル爲所有米穀ノ賣渡ヲ爲スコトヲ得ルモノトス
- 前項ニ依リ賣渡シタル米穀ハ之ヲ移出スルコトヲ得ザルモノトス
- 第一項ノ賣渡價格ハ時價ニ依ルモノトス
- 二、臺灣總督府ハ必要アル場合米穀ノ貯藏、加工又ハ輸出ヲ爲シ得ルモノトス

七

三、臺灣米穀移出管理委員會ヲ設置シ買入價格ノ決定竝ニ改定其ノ他ノ重要事項ヲ審議セ
シムルモノトス

八

四、本事業ハ昭和十四年第二期作米ヨリ之ヲ實施スルモノトス

附 記

一、平時及非常時ヲ通ジ我國ニ於ケル食糧問題ノ重要性ニ鑑ミ米穀ノ生産竝ニ移出ニ付テ
ハ特ニ内外地間ノ緊密ナル連絡ノ下ニ本管理制度ノ運用ニ當ルノ要アリ

二、本管理制度ノ實施ニ當リテハ農家經濟竝ニ一般經濟界ニ急激ナル變化ヲ與ヘザルヤウ
漸進的ニ之ヲ行フノ要アリ

三、臺灣ノ農業ガ米糖産業ヲ根幹トセル現狀ニ鑑ミ本管理制度ノ實施ニ伴ヒ糖業ニ對シテ
モ適當ニ之ヲ統制スルノ要アリ

(參 考)

一、臺灣重要産業調整委員會諮問第一號

諮問第一號

臺灣ニ於ケル重要産業ノ調整ヲ圖リ産業ノ健全ナル發達ヲ期スル爲政府ニ於テ臺灣米ノ移出ヲ管理セントス右ニ關シ執ルベキ方策如何

說 明

臺灣ニ於ケル重要産業ノ調和的發展ト農家經濟ノ安定向上ヲ期スルト共ニ臺灣特有ノ産業的使命ヲ完ウセンガ爲臺灣米ノ移出ヲ管理スルノ要アルヲ認ム仍テ茲ニ本諮問ヲ提出シ之ニ對スル意見ヲ求ムル次第ナリ

一、臺灣重要産業調整委員會第一回總會ニ於ケル臺灣總督ノ挨拶

臺灣重要産業調整委員會第一回總會ニ於ケル臺灣總督ノ挨拶

開會ニ當リマシテ一言御挨拶ヲ申述ベマス

今回臺灣重要産業調整委員會設置セラレマスルヤ各位ハ時局柄極メテ御多用ノ折ニモ拘ラズ委員ニ就任ヲ御快諾下サイマシテ洵ニ有難ウ存ジマス玆ニ厚ク御禮申上ゲマス

臺灣ハ改隸以來既ニ四十餘年ヲ閱シマシタガ此ノ間一視同仁ノ 聖旨ヲ奉體シテ官民一致協力諸般ノ施設經營ニ盡瘁致シマシタ結果産業、教育、衛生、交通等凡ユル部門ニ亘リ非常ノ進歩ヲ見タノデアリマスルガ殊ニ臺灣産業ノ開發ニ付テハ特ニ力ヲ須ヒ今日見ルガ如キ躍進的發展ヲ遂グルニ至リマシタコトハ實ニ御同慶ニ堪ヘザルトコロデアリマス

御承知ノ如ク臺灣ハ熱帶亞熱帶ニ位置シテ居リマスル爲ニ氣候風土能ク農業ニ適シテ居リマス從テ從來ノ産業ハ農業ヲ中心トシテ發達シテ參リマシタ之ハ領臺當時ニ於キマシテ

臺灣農業ノ振興ヲ圖ルコトヲ第一義トスベキ特殊事情モアリ其ノ後ニ於テモ我邦全體の立場ヨリ臺灣ニ要請セラルトコロハ專ラ農産物ノ積極的増殖殊ニ米糖産業ノ發達ニ在ツタコトガ重要ナル素因ヲナシテ居ルト存ズルノデアリマス即チ米ハ我邦食糧政策ノ見地ヨリ砂糖ハ國內自給政策ノ見地ヨリ夫々諸般ノ施設勸奨ニ努力ガ拂ハレマシテ臺灣産業ノ雙璧ヲ築キ上グルニ至ツタノデアリマス

一六

然ルニ近時時勢ノ進運並ニ經濟情勢ノ變遷ニ伴ヒ殊ニ最近我帝國ノ異常ナル發展ニ伴ヒマシテ國家ノ臺灣ニ期待致シマスルトコロモ自ラ異ルモノアルニ至ツタト存ズルノデアリマス即チ之ヲ國防ノ上ヨリ見マシテモ臺灣ノ地位ハ非常ニ變化シテ參リマシタ又之ヲ産業ノ上カラ見マシテモ我邦ノ經濟勢力範圍ヲ通觀シテ計畫サレネバナリマセヌ從テ臺灣モ其ノ本來ノ特質ヲ活用シ國家ノ全體の見地ニ立チ國運ノ進展ニ貢獻セネバナリマセヌト存ズ

ルノデアリマス

斯クノ如キ見地ニ立チマシテ臺灣産業ヲ再檢討シ其ノ重要産業ノ調和的發展ノ方途ヲ究致シマスル爲ニ本委員會ハ設置セラレタノデアリマスガ其ノ第一歩トシテ臺灣特有ノ農業資源ノ利用開發ヲ徹底セシメ積極的ニ土地ノ生産力ヲ擴充シ一面農家經濟ノ安定向上ヲ期スル方法トシテ臺灣總督府ハ明年ヨリ臺灣米ノ移出管理ヲ企圖シテ居ル次第デアリマス然ルニ本事業ハ島内産業經濟全般ニ對シ又内外各方面ニ亘リマシテ極メテ重大ナル影響ヲ及ボスモノデアリマスカラ茲ニ各方面ノ權威者ヲ煩ハシ本事業ニ付慎重審議ヲ願フコトト致シタ次第デアリマス何卒各位ニ於カレマシテハ臺灣總督府ノ意圖スルトコロヲ諒トセラレ十分議論ヲ盡サレマシテ有効適切ナル御意見ノ御答申アランコトヲ切ニ冀望スル次第デアリマス

一七

以上聊カ所懐ノ一端ヲ申述ベマシテ御挨拶ニ代ヘタ次第デアリマス

一八

三、臺灣米穀移出管理案ニ關スル説明

一九

臺灣米穀移出管理案ニ關スル説明

臺灣ノ産米ハ領臺當時百五十萬石ノ生産高ニ過ギナカツタノデアアルガ總督府ニ於テハ夙ニ我國食糧自給政策ニ即應シテ生産ノ增加品質ノ向上ノ爲ニ銳意各般ノ施設ヲ講ジタル結果著シキ發達ヲ來シ殊ニ大正十一年蓬萊米ノ栽培法ノ成功ヲ見ルヤ年ト共ニ躍進シテ昭和十二年ニ於ケル産米ハ其ノ作付面積約六十八萬甲、生産高九百二十三萬餘石、生産價額二億萬圓餘、其ノ産業全體ノ生産總價額ニ對スル割合ハ三割餘ニ達シ本島産業上最モ重要ナル地位ヲ占ムルニ至リタルノミナラズ其ノ過半ハ之ヲ内地ニ供給シテ我國米穀ノ需給上缺クベカラザル役割ヲ爲シツツアルコトハ周知ノ事實デアアル

然シ乍ラ過去數ケ年間ノ我國ニ於ケル米穀ノ需給狀況ヲ觀ルニ所謂米穀ノ供給過剩ノ傾向ニアリ之ガ對策トシテ米穀統制法ノ強化、米穀自治管理法ノ實施等各般ノ統制上ノ施設

ヲ要スルノ已ムナキ事情ヲ生ジタノデアアル、而シテ之等米穀統制諸施設ノ結果ハ内地ノ米價ヲ適當ナル位置ニ維持安定セシムル上ニ效果ガアツタコトハ云フ迄モナキコトデアアルガ臺灣ノ米價ニ對シテハ異常ナル好果ヲ與ヘ臺灣米價ノ昂騰ヲ促シ一段ト米作ニノミ走ルノ傾向ヲ助長シ我國全體ノ米穀事情ニ惡影響ヲ及ボス情勢トナツタノデ總督府ニ於テハ米穀ノ急増ヲ抑制スル爲ニ數年來水利施設ノ新設又ハ改修ハ之ヲ一切禁止シ又土地改良等米ノ増産ヲ圖ル爲從來ヨリ實施シ來リタル各般ノ施設モ共ニ中止シテ代作獎勵ヲ實施シ今日ニ至ツテ居ルヤウナ次第デアアル

斯クノ如ク臺灣ニ於テハ内地ノ米穀政策ニ順應スル爲各種ノ施設ヲ講ジテ來タノデアアルガ之等ハ何レモ不自然ナル施設デアツテ之等從來ノ施設ハ單ニ米ノミノ生産ヲ抑ヘルト云フダケデナク臺灣農業全體ノ發達ヲ阻害スル結果ヲ齎シ來ツタノデアアル、即チ資源ノ利用

開發、生産力擴充ノ切實ナル要求アル今日ニ於テハ大ナル矛盾ト云ハネバナラヌ、又米ノミニ付イテ見テモ食糧問題ノ重大性ニ鑑ミレバ不斷ニ之ガ改良ヲ圖リ増産ノ根基ヲ培養確保シ常ニ情勢ノ變化ニ即應スルヤウ備ヘ置クコトハ食糧國策上緊要ナルコトデアアル、一面帝國ニ於テ臺灣ノ保有スル特質ト使命トニ鑑ミ臺灣特有ノ有用作物即チ甘蔗、棉、黃麻、苧麻、甘藷、蓖麻等ノ増殖ヲ圖リ以テ國內物資需給ノ圓滑ニ資シ國際收支ニ貢獻スルコトハ極メテ喫緊ノ要務ナリト云ハネバナラヌ、而シテ斯クノ如ク米其ノ他ノ有用作物ノ調和的發達ヲ促ス爲ニハ其ノ前提トシテ各種産業ノ支配的地位ニアリ且ツ他ノ有用作物トノ經濟的均衡ヲ著シク失ツテ居ル米價ニ對シテ特別ナル考慮ガ拂ハレネバナラナイ、即チ臺灣ノ米價ヲ或ル程度ニ調整シ適當ナル位置ニ安定セシメテ米作面積ハ其ノ必要面積ヲ確保シ只無統制ナル擴大ヲ抑制シ得ルヤウ方策ヲ講ジ置キ水利施設ヤ土地改良等現在禁止シテ居

ルモノハ之ヲ解除スルト共ニ積極的ニ土地改良其ノ他生産力ノ擴充施設ハ之ヲ直チニ實行ニ移シ之等ノ耕地ニ米ノ漸次的増産ヲ圖ルト共ニ之ト並行シテ一部ニ有用作物ノ増殖ヲ獎勵スルコトニ依リココニ初メテ米ヲ始メ各種作物ノ調和的發達ヲ期待シ得ル次第デアル、而シテ決シテ米ノ減産ヲ圖ルト云フノデハナク米ヲ漸進的ニ増産セシメツツ其ノ餘力ヲ以テ有用作物ノ増産ヲ圖ラントスルモノデアル、今回總督府ガ實施セントスル臺灣米ノ移出管理ノ目的ノ一ハ即チ前述ノ目的ヲ達成スル爲ニ臺灣ノ經濟事情ニ即シタル米價政策ヲ樹立スルト云フ點ニアルノデアル

次ニ米價ガ著シク高イト云フ現在ノ事情ヲ他ノ方面ヨリ觀察スルニ米價ヲ現状ノ儘放任スルトキハ農業經營ハ益々米作ニ單一化スル傾向ヲ迪ルコトハ云フ迄モナキコトデアリコトハ農家經濟ニ重大ナル禍根ヲ貽スコトヲ悞レルノデアル、殊ニ島内米價ノ一ノ特色

トシテ騰落ノ差ガ甚ダ大ナル事實ヲ發見スルノデアルガ之ハ島民ノ營利心ノ強キコトガ其ノ主タル原因ト認メラルルノデアツテ斯クノ如ク米價ノ變動ガ殊ニ大デアル所ニ加ヘテ農業經營ガ米作ニ單一化スルノ傾向ハ農家ノ經濟、農民生活ノ安定ト云フ點カラシテモ之ヲ放任スルコトヲ許サザルモノト信ズルモノデアル、即チ米ノ外ニ各種作物ヲ合理的ニ組合セテ經營ヲ多角化集約化セシムル方策ヲ講ズルト共ニ米價安定ノ方策ヲモ併セ講ジ從來餘リ生産的ニ利用セラレナカツタ農業收益ヲ生産的ニ轉換セシムル方策ヲ樹テ抑制セラレタル米價ノ部分ハ擧ゲテ之ヲ農業ノ調整開發ノ爲ニ還元スルコトトスレバ一見農家經濟ヲ壓迫スルガ如クシテ實ハ之ニ依リテ初メテ農家經濟ノ眞ノ安定、眞ノ向上ヲ圖ルコトトナリ島民永遠ノ福利増進ヲ期スル所以ナリト考ヘラルル次第デアル、コノ點又移出管理ヲ實施セントスル目的ノ一デアル

次ニ帝國ノ全體經濟ヨリスル臺灣産業ノ使命ハ時勢ノ變遷ト經濟情勢ノ緊迫化ノ事實ニ伴ヒ自ラ異ルモノアルヲ認ムル次第デアル、即チ臺灣ハ我國ノ經濟圏内ニ於ケル唯一ノ熱帶的特質ヲ有スル地方デアルカラコノ本來ノ特質ヲ今一段ト活用スルコトニ依リテ國家ニ貢獻スルノ要アルモノト認メ國際收支ノ關係ニ於テモ國內物資ノ需給殊ニ時局下ニ於ケル必要ナル物資ノ生産ト云フ點カラシテモ米ト共ニ臺灣ニ於テ栽培スルヲ得策トスル各種ノ有用作物ノ増殖ヲ併セ圖ルコトハ臺灣ニ期待セラルル所ノモノデアルト考ヘラレル、而シテコノ新シキ國家的的使命ヲ遂行スル爲ニハ前ニ縷々述ベタル如ク臺灣ノ經濟事情ニ即シタル米價政策ヲ樹立スルコトガ緊要デアツテ斯クシテ各種産業ノ調和的發達ヲ促シ一面生産力擴充ノ徹底的施設ヲ講ズルコトモ可能ナリト思料セラルル次第デアル、コノ點又移出管理ヲ實施セントスル目的ノ一デアアル

總督府ニ於テハ以上述べタル目的ヲ達成シ以テ臺灣ニ於ケル重要産業ヲ調整スル方策ニ關シテ慎重ナル研究ヲ重ネタ結果先ヅ以テ臺灣米ノ移出ヲ管理スルコトガ最モ適切ナル方策ナリトノ結論ニ達シタ次第デアル

以上臺灣米ノ移出管理ヲ必要トスル理由ト其ノ目的ニ關スル大要ヲ述ベタ次第デアルガ今般臺灣重要産業調整委員會ニ諮問シテ答申ヲ得タル臺灣米穀移出管理要綱ニ關シ總括的に述ブレバ次ノ如クデアアル

一、先ヅ米ノ生産ニ當ツテハ我國食糧問題ノ重要性ニ鑑ミ國內全體ノ米穀需給ノ円滑ヲ期スル爲總督府ハ農林省ト協議シタル内外地ヲ通ズル需給推算ニ基キ一定年次ノ生産目標ヲ樹テ之ニ基イテ生産ニ當ラントスルモノデアアル

二、臺灣ヨリ移出セラルベキ米穀ハ總テ之ヲ臺灣總督府ニ於テ買入レ總督府ノ手ヲ經テ移

出セントスルモノデア

二八

三、米穀ノ買入ハ買入價格ヲ作付前ニ決定シテ發表スルコトトシ右買入價格ハ生産費、物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ適正ナル米價タラシメ之ニ依ツテ農家經濟ノ安定ヲ期スルト共ニ各種有用作物ノ調和的増産ヲ圖ラントスルモノデア

四、米穀ノ移出ニ當ツテハ移出ニ計畫性ヲ與ヘルト共ニ其ノ販賣ハ内地ノ米穀政策ノ一元化ニ副ハシメ以テ需給並ニ配給ノ圓滑ヲ期シ内地ノ米穀政策ニ貢獻セントスルモノデア
アル

五、賣渡價格ト買入價格トノ差額ヨリ經費ヲ控除シタル收益ハ舉ゲテ之ヲ島内ニ還元シ農業ノ調整、開發及助長ノ經費ニ充テ以テ積極的ニ土地生産力ノ擴充ヲ圖リ農家經濟ノ向上ニ資シ臺灣特有ノ農産資源ノ利用開發ヲ徹底セシメントスルモノデア

六、尙本管理制度ノ圓滑ナル遂行ヲ圖ル爲左記事項ニ關シ考慮ヲ拂ハントスルモノデア

(イ) 平時及非常時ヲ通ジ我國ニ於ケル食糧問題ノ重要性ニ鑑ミ米穀ノ生産並ニ移出ニ付テハ特ニ内外地間ノ緊密ナル連絡ノ下ニ本管理制度ノ運用ニ當ルコト

(ロ) 本管理制度ノ實施ニ依リ將來農家經濟ノ安定向上ヲ招來シ産業ノ健全ナル發達ヲ來スコトトナルベキモ一時的ニハ農家經濟並ニ一般經濟界ニ影響アルベキニ依リ漸進的ニ之ヲ行フコト

(ハ) 臺灣ノ農業ガ米糖産業ヲ根幹トセル現状ニ鑑ミ本管理制度ノ實施ニ伴ヒ糖業ニ對シテモ適當ニ之ガ統制ノ方途ヲ講ズルコト

二九

臺灣米穀移出管理令 (昭和十四年五月十日)

第一條 政府ハ産業ノ調和的發達並ニ農業經營ノ安定及改善ヲ圖ル爲本
令ニ依リ米穀ノ移出ヲ管理ス

第二條 政府ハ移出ヲ目的トスル米穀ノ買入及費渡ヲ行フ

第三條 政府ハ臺灣總督ノ定ムル所ニ依リ毎年第一期作米及第二期作米
毎ニ米穀ノ買入價格ヲ定メ其ノ作付前ニ之ヲ告示ス

前項ノ買入價格ハ臺灣總督ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費、物價其ノ他
ノ經濟事情ヲ參酌シテ之ヲ定ム

政府ハ第一項ノ買入價格ノ決定ニ付テハ臺灣總督ノ定ムル所ニ依リ金
利、保管料及損耗補償金ヲ加算スルコトヲ得

前二項ノ規定ニ依リ定メタル買入價格ハ物價ノ變動著シキ場合又ハ米
穀ノ需給狀況ニ著シキ變動ヲ生ジ若ハ生ズルノ虞アル場合ニ於テハ之

ヲ改定スルコトヲ得

第四條 前條ノ買入價格ノ決定及改定ハ臺灣米穀移出管理委員會ニ諮問シテ之ヲ爲ス

第五條 政府ハ臺灣總督ノ定ムル所ニ依リ第三條ノ買入價格ニ依ル賣渡ノ申込ニ應ジテ米穀ノ買入ヲ爲ス但シ臺灣ニ於テ消費セラルベキ米穀ノ數量ニ不足ヲ生ズルノ虞アルトキハ臺灣總督ノ定ムル所ニ依リ賣渡ノ申込ニ應ゼザルコトヲ得

第六條 政府ハ内地ニ於ケル時價ニ準據シタル價格ヲ以テ移出ヲ目的トスル米穀ノ賣渡ヲ爲ス

第七條 米穀ハ政府ノ所有スルモノ及臺灣總督ノ定ムルモノヲ除クノ外前條ノ規定ニ依リ政府ノ賣渡シタルモノニ非ザレバ之ヲ移出スルコトヲ得ズ

第八條 政府ハ米穀ノ配給上必要アリト認ムルトキハ臺灣ニ於ケル消費ニ充ツル爲時價ニ準據シタル價格ヲ以テ米穀ノ賣渡ヲ爲スコトヲ得

第九條 政府ハ必要ニ應ジ所有米穀ノ貯蔵及加工並ニ輸出ヲ目的トスル賣渡ヲ爲スコトヲ得

前項ノ賣渡ノ價格ハ時價ニ準據シテ之ヲ定ム

第十條 米穀ノ生産費、生産高、現在高、移動及價格並ニ物價ノ調査ニ關シ必要ナル事項ハ臺灣總督之ヲ定ム

第十一條 政府ハ前條ニ規定スル事項其ノ他米穀ノ移出ノ管理ニ關シ必要ナル事項ヲ調査スル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ米穀ノ生産者、取引業者、倉庫業者其ノ他占有者ニ對シ必要ナル事項ノ報告ヲ命ジ又ハ當該官吏ヲシテ其ノ營業所、工場、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ帳簿物件ヲ検査セシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ當該官吏ハ其ノ身分ヲ證明スル證票ヲ携帶スベシ
第十二條 第七條ノ規定ニ違反シテ米穀ヲ移出シタル者ハ五千圓以下ノ
罰金ニ處シ其ノ米穀ヲ沒收ス若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能
ハザルトキハ其ノ價額ヲ追徵ス

第十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第十一條第一項ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サズ又ハ虚偽ノ報告ヲ爲シ
タル者

二 第十一條第一項ノ規定ニ依ル當該官吏ノ臨檢検査ヲ拒ミ、妨ゲ若
ハ忌避シ又ハ其ノ質問ニ對シ答辨ヲ爲サズ若ハ虚偽ノ陳述ヲ爲シタ
ル者

第十四條 營業者ハ其ノ代理人、戸主、家族、雇人其ノ他ノ從業者ガ其
ノ業務ニ關シ第十二條又ハ前條第一號ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ自

己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

第十五條 第十二條及第十三條第一號ノ罰則ハ其ノ者ガ法人ナルトキハ
理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁
治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者
ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

附 則

本令施行ノ期日ハ各規定ニ付臺灣總督之ヲ定ム

臺灣米穀移出管理令施行期日ニ關スル件（昭和十四年五月十六日
府令第六十四號）

臺灣米穀移出管理令中第一條、第三條、第四條、第十條、第十一條及第
十三條ノ規定ハ本令公布ノ日ヨリ、第十四條及第十五條ノ規定ハ第十一
條ノ規定ニ關係アル範圍内ニ於テ同日ヨリ、其ノ他ノ規定ハ昭和十四年
十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

秘

臺灣總督府官制中改正ノ件審査報告

謹デ今回御諮詢ノ臺灣總督府官制中改正ノ件ヲ審査スルニ臺灣總督府ニ於テハ其ノ管内農業ノ現況ニ鑑ミ米穀ノ價格ヲ適正ナラシメ其ノ生産ヲ調節シ以テ重要農業ノ調和的發達及農家經濟ノ安定改善ヲ圖ルノ緊要ナルヲ認メ具ニ審議ヲ重ネ其ノ結果同府ニ於テ米穀ノ移出ヲ管理シ移出ヲ目的トスル米穀ノ買入及賣渡ヲ行フノ議ヲ決シ之ガ爲メ既ニ本年五月臺灣米穀移出管理令（附和料五號）其ノ他ノ關係規

程ヲ制定シ之ヲ施行スルノ域ニ達シタリ而シテ臺灣總督府官制ノ現行規定ニ依レバ米穀ニ關スル事務ハ總テ同府殖産局ニ於テ之ヲ管掌シタルモ新制ノ米穀移出管理ノ事務ハ重要且複雑ニシテ之ヲ擔當スル機關ハ相當ノ規模ヲ必要トシ到底従前ノ殖産局ヲシテ之ヲ兼掌セシムベカラザルニ由リ新ニ同府ニ一局ヲ設置シ其ノ部署ヲ整備シ之ヲシテ前記ノ米穀移出管理ニ關スル事務並ニ從來殖産局ニ於テ擔當セル米穀統制法及米穀自治管理法ノ施行其ノ他之ニ關聯スル事務ヲ管掌セシムルコトトスル爲メ茲ニ本件ヲ以テ臺灣總督府官制ノ現行規定ニ一部ノ改正ヲ加ヘ同府ニ米穀局ヲ新置シテ從來ノ五局ヲ六局ト爲シ(第十七條)總督ハ米穀局ノ事務ヲ分掌セシムル爲メ同局附屬ノ米穀事務所及其ノ出張所ヲ置クコトヲ得ルモノトシ(六項條)其ノ名稱及位置ハ總督之ヲ定ムルコトトシ(第三十條)米穀局ノ設置ニ伴ヒ局長一人ヲ増員スルノ外同局ノ職員タルベキ事務官三人、理事官五人、技師九人、屬八十五人及

アジヤ歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

技手百四十七人ヲ増員(但シ此ノ内技師三人屬三人及
内臨時職員設置制ニ依ル職員ノ振替トス)セントスルナリ(第九條)此ノ米穀
局ニ關スル經費ハ臺灣米穀移出管理特別會計
ノ負擔ニ屬シ該事業ノ益金ヲ以テ支辨セラル
ルモノニシテ其ノ本年度分ノ金額ハ既ニ右特
別會計ノ本年度歲出豫算ニ之ヲ計上シタリ
按ズルニ本件ハ臺灣總督府ニ於テ米穀ノ移出
管理ヲ實施スルニ當リ米穀ニ關スル事務ヲ有
效適切ニ處理スルニ支障ナカラシムベク當該
部局ノ機構ヲ充實スル爲メ其ノ現行官制中ニ

官三

必要ナル改正ヲ加ヘントスルモノニシテ相當
ノ理由アリト認メラルルニ由リ此ノ儘之ヲ可
決セラレ然ルベシト思料ス
右謹デ審査ノ結果ヲ報告ス

昭和十四年六月十七日

樞密院書記官長村上恭一

樞密院議長公壽近衛文麿殿

勅令第 號

臺灣總督府官制中左ノ通改正ス

第十七條第一項中「五局」ヲ「六局」ニ、「殖産局」ヲ「殖産局」ニ改ム

同條ニ左ノ一項ヲ加フ

總督ハ米穀局ニ米穀事務所及其ノ出張所ヲ置キ米穀局ノ事務ヲ分掌セ

シムルコトヲ得

第十九條第一項中「局長 五人」ヲ「局長 六人」ニ、「事務官 專任 三十三人」ヲ「事務官 專任 三十六人」ニ、「理事官 專任 六人」ヲ「理事官 專任 十一人」ニ、「技師 專任 四十六人」ヲ「技師 專任 五十

五人^レニ、「屬 專任二百四十人^レヲ「屬 專任三百二十五人^レニ、「
技手 專任百六十二人^レヲ「技手 專任三百九人^レニ改ム
第三十三條中「及度量衡所^レヲ「、度量衡所、米穀事務所及米穀事務所
出張所^レニ改ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十四年十月三十一日迄ハ第十九條第一項ノ改正規定ニ拘ラズ技師ハ
專任五十四人、屬ハ專任三百二十四人、技手ハ專任二百十五人ヲ以テ定
員トス

理 由

米穀移出管理實施ニ伴ヒ之ニ關スル事務ノ外從來殖産局ニ於テ所管セル
米穀統制法及米穀自治管理法ノ施行、米穀資料調査、移出米検査、米穀
關係團體及農業倉庫業ノ監督等ニ關スル事務ヲ一括所管スル米穀局竝ニ
必要ノ地ニ米穀局ノ事務ヲ分掌スベキ米穀事務所及其ノ出張所ヲ設置ス
ルト共ニ之ニ要スル職員トシテ局長一人、事務官三人、理事官五人、技
師七人、屬八十三人及技手五十二人^{新ニ}増員ニ且臺灣總督府部内臨時職員
設置制中ヨリ移出米検査及米穀統制資料調査ニ關スル事務ニ従事スル技
師二人、屬二人及技手九十五人ヲ之ニ振替フルノ要アルニ由ル

参照

臺灣總督府官制抄

第十七條 總督府ニ總督官房ノ外左ノ五局ヲ置ク

内務局

文政局

財務局

殖産局

警務局

文政局ニ附屬國民精神研究所ヲ置キ國民精神ノ研修ニ關スル事務ヲ掌
ラシム

殖産局ニ獸疫血清製造所ヲ置キ獸疫血清ノ製造及配布ニ關スル事務ヲ
掌ラシム

殖産局ニ營林所及其ノ出張所ヲ置キ總督ノ指定スル國有林野ノ造林ニ關スル事務、其ノ國有林野ノ產物ノ採取、製造、加工及販賣ニ關スル事務並之ニ附帶スル鐵道、道路及其ノ鐵道ニ依ル貨客ノ運輸營業ニ關スル事務ヲ掌ラシム

殖産局ニ度量衡所ヲ置キ度量衡器及計量器ノ製造、修理、販賣及取締其ノ他ノ度量衡及計量ニ關スル事務ヲ掌ラシム

第十九條 總督府ニ左ノ職員ヲ置ク

- 總務長官 勅任
- 局長 五人 勅任
- 事務官 專任三十三人 奏任内ニスコトヲ勅任ト
- 理事官 專任六人 奏任
- 警視 專任二人 奏任

- 視學官 專任五人 奏任
- 社會教育官 專任一人 奏任
- 編修官 專任三人 奏任
- 稅務官 專任一人 奏任
- 技師 專任四十六人 奏任内スコトヲ勅任ト
- 體育官 專任一人 奏任
- 統計官 專任一人 奏任
- 翻譯官 專任三人 奏任
- 屬 專任二百四十人 判任
- 警部 專任七人 判任
- 編修書記 專任四人 判任
- 技手 專任百六十二人 判任

體育官補

專任一人

判任

通譯

專任一人

判任

國民精神研修所ニ指導官專任一人ヲ置ク奏任トス

第三十三條 國民精神研修所、獸疫血清製造所、營林所、營林所出張所

及度量衡所ノ名稱及位置ハ總督之ヲ定ム

説明書

一、米穀局ノ設置

(一) 本局ノ設置

臺灣産業ノ現況ニ鑑ミ島内ニ於ケル米價ヲ適正ナラシメ以テ重要産業ノ調和的發達、農業經營ノ安定改善ヲ圖ルト共ニ我國食糧問題ノ解決ニ寄與セシムルノ緊要ナルヲ認メ今回臺灣總督府ニ於テ臺灣米ノ移出ヲ管理シ移出ヲ目的トスル米穀ノ買入及賣渡ヲ行ヒ而シテ本事業ヨリ生ズル益金ハ之ヲ農業ノ調整、開發及助長ノ施設ニ充當セントス然ルニ米穀移出管理ノ内容ハ複雑廣汎ニ互リ之ガ運用ノ如何ハ臺灣産業經濟ノ消長、島民ノ利害休戚、國家財政ノ安危ニ關スル所大ナルモノアルニ鑑ミ之ニ關スル機構ハ相當ノ組織規模ヲ必要トス

而シテ從來臺灣總督府ニ於ケル米穀ニ關スル事務ハ

殖産局米穀課ニ於テハ

米穀統制法及米穀自治管理法ノ施行ニ關スル事項

米穀關係團體及農業倉庫業ニ關スル事項

米穀資料調査ニ關スル事項

同 商工課ニ於テハ

正米市場ニ關スル事項

米穀取引ニ關スル事項

米穀検査ニ關スル事項

米穀ノ加工、包裝及貯藏ノ指導ニ關スル事項

同 農務課ニ於テハ

米作ニ關スル事項

ヲ分掌シ來レリ然ルニ現在ノ殖産局ハ既ニ七課ノ外營林所等ノ附屬機關ヲ包擁シ此ノ上更ニ今回ノ米穀移出管理事務ヲ所管セシムルニ於テハ殖産局ノ規模愈々複雑膨大ニ過グルノ嫌アリ一面米穀移出管理業務ノ迅速適確ナル處理ニ支障ナカラシムルノ要アルニ鑑ミ殖産局ノ外ニ新ニ米穀ニ關スル事務ヲ一括所管スル米穀局ヲ設置セントス

然レ共米穀移出管理ノ根本目標ハ臺灣産業ノ調和的發達ヲ圖ルニ在ルヲ以テ機構上ニ於テモ産業調整ニ關シ充分ノ考慮ヲ拂ヒ米作ト米以外ノ作物トノ間ニ於テ生産計畫、生産實施等ニ關シ政策ノ調和ヲ保持スルト共ニ米穀移出管理特別會計剩餘金ノ圓滿ナル運用ニ支障ナカラシムルヲ要ス此ノ見地ニ於テ從來殖産局ニ於テ所管スル米作ニ關スル事務ハ其ノ儘同局ニ存置シ米穀局ニ於テハ其ノ他ノ米穀ニ

關スル左記事務ヲ所管セシメ更ニ殖産局トノ間緊密ナル連繫ヲ保持セシムル爲之ヲ臺灣總督府ノ内局ト爲サントス

(イ) 米穀統制法及米穀自治管理法ノ施行ニ關スル事項

(ロ) 臺灣米穀移出管理令ノ施行(米穀検査及米穀資料調査ヲ含ム)

ニ關スル事項

(ハ) 右事務ニ關係アル米穀輸出検査、米穀關係團體、農業倉庫業、米穀取引、米穀ノ加工包裝貯藏ノ指導等ニ關スル事項

(ニ) 米穀事務所及同出張所ノ設置

米穀移出管理實施ニ伴ヒ地方ニ於ケル米穀ノ買入及同検査、政府米ノ輸送貯藏及引渡、島内消費米ノ賣渡、輸出米ノ検査等ニ關スル事務ヲ分掌スベキ機關ヲ必要トスルヲ以テ米穀局ノ下ニ米穀事務所及其ノ出張所ヲ設置セントス而シテ米穀事務所ハ米穀ノ主要集散地タル

基隆市、新竹市、臺中市、嘉義市、高雄市及花蓮港街、六箇所ニ設置シ又同出張所ハ米穀ノ主要生産地十一箇所ニ設置セントス

二、米穀局ノ分課

米穀局ノ事務ヲ其ノ性質及量ヨリ考慮シ區分スルトキハ

(イ) 人事、文書其ノ他ノ庶務、米穀移出管理特別會計ノ經理其ノ他總務的事項

(ロ) 米穀統制法及米穀自治管理法ノ施行、米穀移出管理ニ關スル現業以外ノ事務其ノ他米穀政策的事項

(ハ) 米穀移出管理ニ關スル現業的事項

ニ三大別スルコトヲ得依テ米穀局ノ分課ハ總務課、米政課及業務課ノ三課トス

三、米穀局ノ職員

(一) 所要職員

米穀局設置ニ伴ヒ本局、米穀事務所及同出張所ニ配置スベキ職員トシテ局長一人、事務官四人、理事官五人、技師十人、屬八十七人及技手百五十人ヲ必要トス

而シテ事務官四人ハ總務課長、米政課長、業務課長及米政課米政係總括ニ充當シ理事官五人ハ總務課經理係總括、業務課購買係總括、同販賣係總括並ニ基隆及高雄米穀事務所長ニ充當シ技師十人ハ米政課調査第一係總括、同調査第二係總括、業務課管理係總括、同輸送係總括、同検査係總括並ニ基隆新竹臺中嘉義及高雄ノ五米穀事務所ニ於ケル技術ノ總括(新竹臺中及嘉義米穀事務所ニ在リテハ所長ヲ兼務ス)ニ充當シ屬及技手ハ別表ノ通配置セントス

(二) 職員ノ振替及増員

米穀局ノ所要職員ハ右ノ如クナルモ從來米穀ニ關スル事務ニ從事スル臺灣總督府官制中ノ既存定員トシテ米穀自治管理法施行ニ關スルモノ事務官一人、技師一人、屬一人及技手三人並ニ米穀統制資料調査ニ關スルモノ屬一人アリテ之ヲ米穀局職員ニ充當シ得ベキヲ以テ之ヲ差引キ局長一人、事務官三人、理事官五人、技師九人、屬八十五人及技手百四十七人ヲ増員セントス

更ニ右増員中ニハ臺灣總督府部内臨時職員設置制中ヨリ振替フル移出米検査及米穀統制資料調査ニ關スル事務ニ從事スル技師二人、屬二人及技手九十五人ヲ包含スルヲ以テ差引新規増員ハ局長一人、事務官三人、理事官五人、技師七人、屬八十三人及技手五十二人トス

參考資料目次

- 一、臺灣米穀移出管理ノ趣旨……………一
- 二、臺灣總督府米穀局ノ分課分掌及定員配置……………五
- 三、臺灣總督府部内臨時職員設置制中改正案……………一〇

参考一

臺灣米穀移出管理ノ趣旨

一、米穀移出管理ノ必要

- (一) 臺灣ノ産米ハ近年著シキ發展ヲ遂ゲ其ノ昭和十二年ニ於ケル作付面積約六十餘萬甲、生産高九百餘萬石ニ達シ又生産價額ハ産業總生産價額ニ對シ約三割ニ相當スルニ億圓餘ニ及ビ本島産業上最モ重要ナル地位ヲ占ムルニ至リタルノミナラズ生産高ノ過半ハ之ヲ内地ニ供給シテ我國米穀ノ需給上缺クベカラザル役割ヲ爲スニ至レリ然ルニ最近我國ニ於ケル米穀統制政策ハ臺灣ノ産米ニ大ナル反射的影響ヲ與ヘ米價ハ著シク高調ヲ呈シ農民ヲシテ只管米作ノミニ趨ラシムルノ傾向ヲ助長シ我國全體ノ米穀事情ニ惡影響ヲ及ボスノ情勢ト爲リタリ依テ本府ニ於テハ之ガ對策トシテ數年來水利、土地改良等米

ノ増産ニ關スル從前ノ方策ヲ中止スルト共ニ努メテ代作ヲ獎勵シ以テ今日ニ至レリ

(二) 然レ共ニ我國將來ニ於ケル食糧ノ需給關係及帝國ニ於ケル臺灣ノ使命ニ鑑ミルトキハ寧口不斷ニ産米ノ改良ヲ圖リ増産ノ根基ヲ培養確保シ以テ情勢ノ變化ニ即應シ得ルノ方途ヲ講ズルト共ニ甘蔗、棉、黄麻、苧麻、甘藷、蓖麻等特殊有用作物ノ増殖ヲ圖リ以テ國內物資需給ノ圓滑、國際收支ノ適合ニ資スルハ喫緊ノ要務ナルニ拘ラズ前述ノ如キ水利、土地改良等抑制ノ方策ハ單ニ米ノ増産ヲ抑制スルニ止マラズ臺灣ニ於ケル農業全體ノ發展ヲ阻害スルノ結果ヲ招來シ資源ノ利用開發、生産力擴充ノ緊切ナル今日大ナル矛盾ナリト言ハザルベカラズ依テ此ノ際寧口積極的ニ水利、土地改良等農業生産力擴充ノ施設ヲ講ジ特殊有用作物ノ増殖ヲ獎勵シ以テ米作ト各種作

物トヲ調和的ニ發達セシムルハ我國唯一ノ熱帶的領土タル臺灣ノ特質ヲ活用シ帝國全體經濟ノ要請ニ應ズル所以ナリトス

(三) 更ニ臺灣米ノ價格ハ前述ノ如ク著シク高調ヲ呈シ農業經營ハ益々米作ニ單一化シツツアルモ之ヲ現状ノ儘ニ放任スルトキハ農家ハ價格ノ騰落常ナラザル米作ノミニ依存スルコトト爲リ將來ノ農業經營、農民生活ハ頗ル不安定ノ状態ニ置カルベキハ明ナリ依テ速ニ臺灣米ノ價格ノ適正ヲ圖ルト共ニ各種有用作物ノ増殖ヲ獎勵シ以テ農業經營ヲ多角化、集約化セシメ農家經濟ノ眞ノ安定改善ヲ圖リ島民永遠ノ福利増進ヲ期スルヲ要ス

(四) 茲ニ於テ臺灣米ノ價格ノ適正ヲ圖リ以テ産業ノ調和的發達、農家經濟ノ安定改善ヲ期スルト共ニ我國食糧問題ノ解決ニ寄與セシムル爲本府ハ臺灣米ノ移出ヲ管理シ臺灣ヨリ移出セラルル米穀ハ總テ本

府ニ於テ臺灣ノ經濟事情ニ適應シタル價格ヲ以テ買入レ之ヲ内地ニ於ケル時價ニ準據シタル價格ヲ以テ賣渡シ其ノ賣渡ヲ受ケタル米穀ニ非ザレバ移出スルコトヲ得ザラシメ而シテ本事業ヨリ生ズル益金ハ之ヲ農業ノ調整、開發及助長ノ施設ニ充テントス

二、米穀移出管理ノ内容

(一) 米穀ノ買入

- (イ) 移出セラルベキ米穀ハ總テ臺灣總督府ニ於テ買入ルルモノトス
- (ロ) 政府ノ所有スル米穀又ハ臺灣總督府ヨリ賣渡シタル米穀ニ非ザレバ移出スルコトヲ得ザルモノトス
- (ハ) 米穀ノ買入ハ玄米ヲ以テ之ヲ爲スモノトス但シ必要ニ應ジ白米又ハ叔ヲ以テ買入ルルモノトス
- (ニ) 米穀ノ買入ハ申込ニ應ジ検査ノ上合格シタルモノニ付等級ヲ附

シ之ヲ爲スモノトス但シ島内ニ於テ消費セラルベキ米穀ニ不足ヲ生ズルノ虞アル場合ハ賣渡ノ申込ニ應ゼザルコトヲ得ルモノトス

(二) 米穀ノ買入價格

- (イ) 買入價格ハ生産費、物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ種類、銘柄、等級別ニ移出港渡ノ價格ニ付之ヲ決定シ告示スルモノトス
- (ロ) 買入價格ハ第一期作及第二期作別ニ其ノ作付準備前ニ之ヲ發表スルモノトス但シ物價ノ變動著シキ場合又ハ内外地ノ米穀需給狀況ニ異常ナル變動ヲ生ジ若ハ生ズルノ虞アル場合ニ於テハ之ガ改定ヲ爲スコトヲ得ルモノトス
- (ハ) 買入米ノ買付調節ノ爲買入價格ニ金利、保管料及損耗補償金ヲ加算スルモノトス
- (ニ) 買入代金ハ買入價格ヨリ移出港ト買入場所間ノ運賃諸掛ヲ控除

シタルモノトス

(三) 米穀ノ移出

- (イ) 臺灣總督府ハ豫メ農林省ト協議シタル内外地ノ需給推算ニ基キ一定年次ノ米穀ノ生産目標ヲ樹ツルモノトス
- 右ニ依リ生産シタル米穀ノ移出ニ付テハ總督府ハ農林省ト協議ノ上各期作毎ニ豫メ過去ノ月別移出状況ヲ参酌シテ月別移出計畫ヲ樹ツルモノトス

- (ロ) 月別移出計畫ヲ定ムルニ當リ年移出總數量ハ原則トシテ之ヲ限定セザルモノトス但シ内外地ノ米穀事情ニ異常ナル變動アリタル場合ハ双方協議ノ上之ガ對策ヲ講ズルモノトス

(四) 米穀ノ販賣

- (イ) 臺灣總督府ハ月別移出計畫ニ基キ米穀ヲ移出スルニ當リ其ノ販

賣ハ之ヲ農林省ニ委託スルモノトス

- (ロ) 農林省ハ臺灣總督府ヨリ委託セラレタル米穀ノ販賣ハ總テ之ヲ

特殊販賣機關ヲシテ代行セシムルモノトス

- (ハ) 前項ノ特殊販賣機關ノ組織ニ當リテハ現在ノ臺灣米移出業者ヲ

包含セシムルモノトス

- (ニ) 臺灣米ノ販賣ヲ代行スル特殊販賣機關ハ時價ニ依リ原則トシテ

現在ノ臺灣米移入業者ニ販賣スルモノトス

(五) 米穀ノ移出管理ニ關スル會計

- (イ) 移出管理ニ關スル收支ヲ明ニシ事業ノ圓滑ヲ期スル爲特別會計ヲ設置スルモノトス

- (ロ) 本會計ノ過剩金ハ農業ノ調整、開發及助長ノ經費並ニ損失アル場合ノ補填ニ之ヲ充ツルモノトス

(六) 其ノ他

(イ) 臺灣總督府ハ島内ニ於ケル米穀ノ需給調節上必要アリト認ムル

トキハ島内ニ於ケル消費ノ用ニ供スル爲所有米穀ノ賣渡ヲ爲スコ

トヲ得ルモノトス

前項ニ依リ賣渡シタル米穀ハ之ヲ移出スルコトヲ得ザルモノトス

第一項ノ賣渡價格ハ時價ニ依ルモノトス

(ロ) 臺灣總督府ハ必要アル場合米穀ノ貯蔵、加工又ハ輸出ヲ爲シ得

ルモノトス

(ハ) 臺灣米穀移出管理委員會ヲ設置シ買入價格ノ決定並ニ改定其ノ

他ノ重要事項ヲ審議セシムルモノトス

(ニ) 本事業ハ昭和十四年第二期作米ヨリ之ヲ實施スルモノトス

参考二

臺灣總督府米穀局ノ分課分掌及定員配置

(一) 本局

課	係	分掌事務	局		
			局長	事務官	
總務	庶務係	米穀關係反則取締	課長	一	
			人	一	
文書	米穀事務所及同出張所ノ庶務	其ノ他庶務	課長	一	
			事務官	一	
				理事官	
				技師	
				屬	
				技手	

本局合計	課				
	計	検査係	買入	陸上輸送	海上輸送
		米穀加工包装及貯蔵/指導	検査	陸上輸送	海上輸送
			買入検査	政府米/保管及貯蔵	内地關係官廳及販賣會社 島内消費米/賣渡
一					
x 一四	一				
三	二				
△x 二一五	△ 一三	△		一	
△x 三 二二七	△ 一 一五	△		三	
x △x 四 八三一	△ 一 二〇	△		二	

務		業	
販賣係	購買係	管理係	
移出米穀/販賣状況調査	移出米穀/販賣 買入代金/決定	買入實施計畫/設定及變更 移出米穀/買入 米穀納入團體/指導及調査	移出實施計畫/設定及變更 島内消費米/需給調節 購買販賣輸送及検査/聯絡 米穀事務所及同出 販賣業務/監査
			局長事務官 理事官 技師 屬 技手
四	四	三	
一	一	五	

(三) 總計

總計	局長	事務官	理事官	技師	屬	技手
	一	一	四	五	△ X	一〇
	X				二	一〇
					△ X	八七
					二	二
					△ X	一五〇
					九	五
					五	三

備考

- 一、X 印ハ臺灣總督府官制中既存ノ米穀自治管理職員(事務官一人、技師一人、屬一人及技手三人)及米穀資料調査職員(屬一人)ノ内書トス
- 二、△ 印ハ臺灣總督府部内臨時職員設置制中米穀統制資料調査職員(技師一人、屬一人及技手六人)及移出米検査職員(技師一人、屬一人及技手八十九人)振替ノ内書トス
- 三、米穀事務所及同出張所ノ係別分掌事務左ノ如シ

(一) 事務所

- 庶務會計係 事務所及同出張所ノ人事、文書、會計等
- 購買係 納入組合ニ對スル米穀ノ割當及納入統制、米穀生産者及業者ノ手持米調査、米穀買入ノ決定及收納、島内消費米ノ販賣等
- 輸送係 輸送貯蔵ノ統轄、運送業者ノ監督、政府米ノ保管貯蔵及輸送等
- 右ノ外基隆及高雄ニ在リテハ移出米ノ引渡、事故米ノ處置、船舶輸送荷役等ノ折衝等
- 検査係 買入検査、輸出検査等、基隆及高雄ニ在リテハ輸移出再検査

(二) 出張所

購買係 米穀買入ノ決定及收納、島内消費米ノ販賣等
輸送係 政府米ノ保管貯蔵及輸送等
検査係 買入検査、輸出検査等

参考三

勅令第 號

臺灣總督府部内臨時職員設置制中左ノ通改正ス

第一條第八號、同條第二十九號及同條第三十二號ヲ削除ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ第一條第八號ニ關スル部分ハ昭和十
四年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

理由

米穀移出管理實施ニ伴ヒ移出米検査及米穀統制資料調査ニ關スル事務ニ
従事スル技師二人、屬二人及技手九十五人ヲ臺灣總督府官制ノ定員ニ振
替フルト共ニ米穀移出統制ニ關スル事務ニ従事スル技師一人、屬一人及
技手一人ヲ減員スルノ要アルニ出ル

参照

臺灣總督府部内臨時職員設置制抄

第一條 臺灣總督府ニ左ノ職員ヲ增置ス

八 移出米検査ニ關スル事務ニ従事スル者

技師 専任一人

屬 専任一人

技手 専任八十九人

二十九 米穀移出統制ニ關スル事務ニ従事スル者

技師 専任一人

屬 専任一人

技手 専任一人

三十二 米穀統制資料調査ニ關スル事務ニ従事スル者

技師 専任一人
屬 専任一人
技手 専任六人

臺灣米穀移出管理ニ關スル法令

臺灣總督府

目次

一、臺灣米穀移出管理令	一
二、臺灣米穀移出管理令施行期日ニ關スル件	四
三、臺灣米穀移出管理令施行規則	五
四、臺灣米穀移出管理委員會官制	一一
五、臺灣米穀移出管理特別會計法	一二
六、臺灣米穀移出管理特別會計規則	一四

臺灣米穀移出管理令 (昭和十四年五月十日)
律令第十四號

第一條 政府ハ産業ノ調和的發達並ニ農業經營ノ安定及改善ヲ圖ル爲本
令ニ依リ米穀ノ移出ヲ管理ス

第二條 政府ハ移出ヲ目的トスル米穀ノ買入及費渡ヲ行フ

第三條 政府ハ臺灣總督ノ定ムル所ニ依リ毎年第一期作米及第二期作米
毎ニ米穀ノ買入價格ヲ定メ其ノ作付前ニ之ヲ告示ス

前項ノ買入價格ハ臺灣總督ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費、物價其ノ他
ノ經濟事情ヲ參酌シテ之ヲ定ム

政府ハ第一項ノ買入價格ノ決定ニ付テハ臺灣總督ノ定ムル所ニ依リ金
利、保管料及損耗補償金ヲ加算スルコトヲ得

前二項ノ規定ニ依リ定メタル買入價格ハ物價ノ變動著シキ場合又ハ米
穀ノ需給狀況ニ著シキ變動ヲ生ジ若ハ生ズルノ虞アル場合ニ於テハ之

ヲ改定スルコトヲ得

第四條 前條ノ買入價格ノ決定及改定ハ臺灣米穀移出管理委員會ニ諮問シテ之ヲ爲ス

第五條 政府ハ臺灣總督ノ定ムル所ニ依リ第三條ノ買入價格ニ依ル賣渡ノ申込ニ應ジテ米穀ノ買入ヲ爲ス但シ臺灣ニ於テ消費セラルベキ米穀ノ數量ニ不足ヲ生ズルノ虞アルトキハ臺灣總督ノ定ムル所ニ依リ賣渡ノ申込ニ應ゼザルコトヲ得

第六條 政府ハ内地ニ於ケル時價ニ準據シタル價格ヲ以テ移出ヲ目的トスル米穀ノ賣渡ヲ爲ス

第七條 米穀ハ政府ノ所有スルモノ及臺灣總督ノ定ムルモノヲ除クノ外前條ノ規定ニ依リ政府ノ賣渡シタルモノニ非ザレバ之ヲ移出スルコトヲ得ズ

第八條 政府ハ米穀ノ配給上必要アリト認ムルトキハ臺灣ニ於ケル消費ニ充ツル爲時價ニ準據シタル價格ヲ以テ米穀ノ賣渡ヲ爲スコトヲ得

第九條 政府ハ必要ニ應ジ所有米穀ノ貯藏及加工並ニ輸出ヲ目的トスル賣渡ヲ爲スコトヲ得

前項ノ賣渡ノ價格ハ時價ニ準據シテ之ヲ定ム

第十條 米穀ノ生産費、生産高、現在高、移動及價格並ニ物價ノ調査ニ關シ必要ナル事項ハ臺灣總督之ヲ定ム

第十一條 政府ハ前條ニ規定スル事項其ノ他米穀ノ移出ノ管理ニ關シ必要ナル事項ヲ調査スル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ米穀ノ生産者、取引業者、倉庫業者其ノ他占有者ニ對シ必要ナル事項ノ報告ヲ命ジ又ハ當該官吏ヲシテ其ノ營業所、工場、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ帳簿物件ヲ検査セシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ當該官吏ハ其ノ身分ヲ證明スル證票ヲ携帶スベシ

第十二條 第七條ノ規定ニ違反シテ米穀ヲ移出シタル者ハ五千圓以下ノ

罰金ニ處シ其ノ米穀ヲ沒收ス若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能

ハザルトキハ其ノ價額ヲ追徵ス

第十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第十一條第一項ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サズ又ハ虚偽ノ報告ヲ爲シ
タル者

二 第十一條第一項ノ規定ニ依ル當該官吏ノ臨檢検査ヲ拒ミ、妨ゲ若
ハ忌避シ又ハ其ノ質問ニ對シ答辨ヲ爲サズ若ハ虚偽ノ陳述ヲ爲シタ
ル者

第十四條 營業者ハ其ノ代理人、戸主、家族、雇人其ノ他ノ從業者が其
ノ業務ニ關シ第十二條又ハ前條第一號ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ自

己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

第十五條 第十二條及第十三條第一號ノ罰則ハ其ノ者が法人ナルトキハ

理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁

治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者

ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

附 則

本令施行ノ期日ハ各規定ニ付臺灣總督之ヲ定ム

臺灣米穀移出管理令施行期日ニ關スル件（昭和十四年五月十六日
府令第六十四號）

臺灣米穀移出管理令中第一條、第三條、第四條、第十條、第十一條及第
十三條ノ規定ハ本令公布ノ日ヨリ、第十四條及第十五條ノ規定ハ第十一
條ノ規定ニ關係アル範圍内ニ於テ同日ヨリ、其ノ他ノ規定ハ昭和十四年
十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

臺灣米穀移出管理令施行規則 (昭和十四年五月十八日 府令第六十五號)

第一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル米穀ハ政府ノ所有スルモノ又ハ費渡シ

タルモノニ非ザルモノト雖モ之ヲ移出スルコトヲ得

一 臺灣ニ於テ船舶ニ積込マルル船用品タル米穀

二 屑米及碎米ニシテ臺灣總督府ノ證明アルモノ

三 試験、調査ノ用ニ供シ又ハ博覽會、共進會、品評會等ノ出品ノ用

ニ供スル米穀ニシテ官公署ノ證明アルモノ

四 標本米又ハ見本米ニシテ郵便物タルモノ

五 旅客ノ携帶品タル米穀ニシテ三十疋ヲ超エザルモノ

六 其ノ他特別ノ事由ニ因リ臺灣總督ノ許可ヲ受ケタルモノ

第二條 臺灣米穀移出管理令(以下管理令ト稱ス)第三條第一項ノ買入

價格ハ第一期作米ニ在リテハ前年十月、第二期作米ニ在リテハ其ノ年

五月米穀ノ種類、銘柄及等級別ニ基隆市渡又高雄市渡ノ價格ヲ告示ス
第三條 買入價格ハ種類別ニ臺灣總督ノ定ムル標準買入價格ヲ臺灣總督
ノ指定スル銘柄及等級ノ米穀ノ買入價格ノ總平均タラシムル計算ノ下
ニ臺灣總督ノ定ムル格差ニ從ヒ各銘柄及等級ノ米穀毎ニ之ヲ定ム
前項ノ標準買入價格ハ前年同期作米ノ生産費ニ運賃諸掛ヲ加ヘタル額
及物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ種類別ニ之ヲ定ム

第四條 第一期作米ノ六月ヨリ十月迄ノ間、第二期作米ノ十二月ヨリ翌
年五月迄ノ間ニ於ケル買入價格ハ種類及銘柄別ニ臺灣總督ノ指定スル
期間毎ニ前條第一項ノ買入價格ニ臺灣總督ノ定ムル金利、保管料及損
耗補償金ニ相當スル金額ヲ加算シテ之ヲ定ム
前項ノ金利ハ産業組合ニ於ケル貸付金ノ利率ヲ、保管料及損耗補償金
ハ農業倉庫ニ於ケル米穀ノ保管料及損耗割合ヲ參酌シテ之ヲ定ム

第五條 管理令第三條第二項ノ米穀生産費ハ別ニ定ムル所ニ依リ調査シ
タル前年同期作米ノ玄米一石當生産費(例外ト認ムルモノヲ除ク)ヲ
平均シテ之ヲ算出ス
前項ノ玄米一石當生産費ハ左ノ各號ニ掲グル費目ノ合計額ヨリ副收入
ノ金額ヲ控除シタルモノヲ米穀收量ヲ以テ除シテ之ヲ算出ス

- 一 種 類 代
- 二 肥 料 代
- 三 勞 賃
- 四 畜 力 費
- 五 諸 材 料 費
- 六 農 舍 費
- 七 農 具 費

八 租税其ノ他ノ公課

九 部落協議費又ハ之ニ準ズルモノ（水利費又ハ病虫害驅除豫防費タルモノ）

十 土地資本利子

十一 小作料

十二 玄米調製料

第六條 第三條第二項ノ運賃諸掛ハ左ニ掲グル費用ノ合計額ヲ各地方主要米穀集散地ニ於ケル前年ノ米穀ノ移出數量ニ依リ加重シテ平均シ之ヲ算出ス
一 臺灣總督ノ指定スル地方主要米穀集散地ニ於テ要スル小運送費及積込賃
二 前號ノ地方主要米穀集散地ヨリ基隆市又ハ高雄市迄ノ鐵道又ハ船

船ノ運賃

三 基隆市又ハ高雄市ニ於テ要スル積卸賃及小運送費

第七條 管理令第五條ノ規定ニ依リ買入ヲ爲ス場合ノ米穀ノ受渡地ハ之ヲ告示ス
前項ノ受渡地ガ基隆市及高雄市以外ノ地ナルトキハ米穀ノ買入代金ハ

第二條ノ規定ニ依リ定メタル買入價格ヨリ其ノ地ヨリ基隆市又ハ高雄市ニ至ル迄ノ運賃諸掛ノ範圍内ニ於テ臺灣總督ノ定ムル金額ヲ控除シタル額トス

第八條 管理令第五條ノ規定ニ依ル費渡ノ申込ハ同一種類及銘柄ノモノ百六十五袋（吸入ノ場合ハ百五十七袋）以上タルコトヲ要ス但シ特別ノ事由アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第九條 管理令第五條ノ規定ニ依ル買入米穀ハ別ニ定ムル所ニ依リ費渡

ノ申込アリタルトキ行フ検査ニ合格シタルモノナルコトヲ要ス

第十條 管理令第五條ノ規定ニ依リ賣渡ノ申込ヲ爲サントスル者ハ別記

第一號様式ニ依ル賣渡申込書ヲ米穀事務所又ハ其ノ出張所ヲ經テ臺灣
總督ニ提出スベシ

前項ノ賣渡申込書ヲ受理シタルトキハ検査ノ場所及期日ヲ定メ申込者
ニ之ヲ通知ス

第十一條 管理令第五條但書ノ規定ニ依ル賣渡ノ申込ニ應ゼザル米穀ノ
種類及産地並ニ期間ハ之ヲ告示ス

第十二條 管理令第八條又ハ第九條ノ規定ニ依リ賣渡シタル米穀ニハ其
ノ包装面ニ各別記第一號雜形又ハ第二號雜形ノ證印ヲ押捺ス

第十三條 管理令第十一條第二項ノ證票ハ別記第二號様式ニ依ル

第十四條 白米ノ買入價格ハ玄米ノ買入價格、白米調製料及撈減ヲ參酌

シテ之ヲ定ム

附 則

本令中第二條乃至第六條、第十三條及第十四條ノ規定ハ昭和十四年五月
十六日ヨリ、其ノ他ノ規定ハ昭和十四年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十四年第二期作米及昭和十五年第一期作米ニ付テハ管理令第三條第
二項ノ米穀生産費ハ第五條ノ規定ニ拘ラス臺灣總督ノ調査シタル前年同

期作米ノモノニ依ル

(別記)

第一號様式

賣渡申込書

昭和 年 月 日

住所

氏

名印

臺灣總督

殿

臺灣米穀移出管理令第五條ニ依ル米穀ノ賣渡致度候ニ付テハ同令、同令施行規則、昭和 年告示第 號及米穀賣渡心得書ノ條項承知ノ上左記ノ通及申込候也

記

備考	年産期	種類	銘柄	数	量産	地調製地	希望検査場所
					(袋)		

注意

- 一 申込米穀ノ年産期、種類、銘柄及希望検査場所ヲ異ニスル毎ニ申込書ヲ別ニスルコト
- ニ 申込米穀ガ白米ナルトキハ「白米」ト上部欄外ニ朱記スルコト

第二號様式

表面

第 一 號

臺灣米穀移出管理令
第十一條第二項ノ證票

官職氏名

臺灣總督府印

裏面

臺灣米穀移出管理令摘要

第十條 米穀ノ生産費、生産高、現在高、移動及價格並ニ物價ノ調査ニ関シ必要ナル事項ハ台湾總督之ヲ定ム

第十一條 政府ハ前條ニ規定スル事項其ノ他米穀ノ移出ノ管理ニ関シ必要ナル事項ヲ調査スル為テ必要アリト認ムルトキハ米穀ノ生産者取引業者、倉庫業者其ノ他占有者ニ對シ必要ナル事項ノ報告ヲ命ジ又ハ當該官吏ヲシテ其ノ營業所、工場、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ帳簿物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ當該官吏ハ其ノ身分ヲ證明スル證票ヲ携帯スベシ

第一號雜形
島内消費米穀ノ證印



外徑一〇糎
肉幅〇六糎
赤色

第二號雜形

輸出米穀ノ證印



外徑一〇糎
肉幅〇六糎
赤色

臺灣米穀移出管理委員會官制 (昭和十四年五月十六日勅令第三百十八號)

第一條 臺灣米穀移出管理委員會ハ臺灣總督ノ監督ニ屬シ其ノ諮問ニ應ジテ米穀ノ移出管理ニ關スル重要事項ヲ調査審議ス

第二條 委員會ハ會長一人及委員二十五人以内ヲ以テ之ヲ組織ス

前項定員ノ外必要アル場合ニ於テハ臨時委員ヲ置クコトヲ得

第三條 會長ハ臺灣總督府總務長官ヲ以テ之ニ充ツ

委員及臨時委員ハ臺灣總督ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

第四條 會長ハ會務ヲ總理ス

會長事故アルトキハ臺灣總督ノ指名スル委員其ノ職務ヲ代理ス

第五條 委員會ニ幹事ヲ置ク臺灣總督ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス

第六條 委員會ニ書記ヲ置ク臺灣總督之ヲ命ズ

書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

臺灣米穀移出管理特別會計法(昭和十四年三月二十八日法律第三十五號)

第一條 臺灣總督府ニ於テ米穀ノ移出ヲ管理スル爲特別會計ヲ設置シ其ノ歳入ヲ以テ其ノ歳出ニ充ツ

第二條 本會計ニ据置運轉資本ヲ置キ其ノ金額ハ五百萬圓トシ漸次臺灣總督府特別會計ヨリ繰入ルルモノトス

第三條 本會計ニ屬スル經費ヲ支辨スル爲必要アルトキハ政府ハ本會計ノ負擔ニ於テ借入ヲ爲スコトヲ得但シ其ノ金額ハ二千五百萬圓ヲ超ユルコトヲ得ズ

第四條 本會計ニ於テハ米穀ノ費渡代金、積立金ヨリ生ズル收入、借入金及附屬雜收入ヲ以テ其ノ歳入トシ米穀ノ買入代金、米穀ノ買入費渡加工貯蔵及運搬ニ關スル諸費、借入金ノ償還金及利息、一時借入金ノ利子其ノ他諸費ヲ以テ其ノ歳出トス

第五條 米穀ノ買入數量ノ増加其ノ他避クベカラザル事由ニ因リ生ジタル豫算ノ不足ヲ補フ爲歲出豫算ニ豫備費ヲ設クルコトヲ得

第六條 本會計ノ歲出額ハ其ノ實際ノ歲入及据置運轉資本ノ合計額ヲ超過スルコトヲ得ズ

第七條 本會計ニ於テ支拂上現金ニ餘裕アルトキハ之ヲ大藏省預金部ニ預入ルベシ

第八條 本會計ニ於テ支拂上現金ニ不足アルトキハ本會計ノ負擔ニ於テ一時借入ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル一時借入金ハ當該年度内ニ之ヲ返還スベシ

第九條 本會計ニ於テ決算上過剩ヲ生ジタルトキハ之ヲ積立ツベシ
本會計ニ於テ決算上不足ヲ生ジタルトキハ前項ノ規定ニ依ル積立金ヨリ之ヲ補足スベシ

第十條 本會計ノ積立金ハ之ヲ臺灣ニ於ケル農業ノ調整、開發及助長ノ爲必要ナル費途ニ使用スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ本會計ノ積立金ヲ使用セントスルトキハ其ノ金額ヲ臺灣總督府特別會計ノ歲入ニ繰入レ臺灣總督府特別會計ノ歲出トシテ拂出スベシ

第十一條 本會計ノ積立金ハ國債ヲ以テ保有シ又ハ大藏省預金部ニ預入レ之ヲ運用スルコトヲ得

第十二條 本會計ノ毎年度歲出豫算ニ於ケル支出殘額ハ之ヲ翌年度ニ繰越シ使用スルコトヲ得

第十三條 政府ハ毎日本會計ノ歲入歲出豫算ヲ調製シ歲入歲出ノ總豫算ト共ニ帝國議會ニ之ヲ提出スベシ

第十四條 本會計ノ收入支出ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

本法ハ昭和十四年度ヨリ之ヲ施行ス

臺灣米穀移出管理特別會計規則 (昭和十四年五月十七日勅令第三百三十號)

第一條 歳入歳出ノ豫定計算書ニハ前前年度ノ貸借對照表及損益計算表竝ニ前前年度三月三十一日ニ於ケル米穀在高明細表及積立金明細目錄ヲ添附スベシ

第二條 臺灣總督府特別會計規則第五條及第六條竝ニ會計規則第二十四條ノ規定ハ臺灣米穀移出管理特別會計法第五條ノ豫備費ノ支出ニ付之ヲ準用ス

第三條 本會計ニ於テハ据置運轉資本ニ屬スル現金ノ持越高、當該年度ノ收入濟歳入額及臺灣米穀移出管理特別會計法第八條ニ規定スル一時借入金ヲ以テ支拂元受高トシ歳出ヲ支出スルハ此ノ支拂元受高ヲ超過スルコトヲ得ズ

第四條 本會計ニ於テ支拂上現金ニ不足ヲ生ジタルトキハ臺灣總督ハ所

管大臣ヲ經由シテ大藏大臣ノ承認ヲ受ケ臺灣米穀移出管理特別會計法
第八條ニ規定スル一時借入金ニ代ヘ積立金ニ屬スル現金ヲ前條ノ支拂
元受高ニ繰替使用スルコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ繰替使用シタル金額ハ當該年度内ニ之ヲ返還スベシ
第五條 支出官ハ米穀事務所及其ノ出張所ノ經費ニ限り所屬ノ出納官吏
ニ資金ノ前渡ヲ爲スコトヲ得

第六條 毎年度ニ屬スル歳出ヲ支出スル爲小切手ヲ振出スハ當該年度三
月三十一日限トス但シ圖庫内ニ於ケル移換ノ爲ニスル支出又ハ會計法
第十九條ノ規定ニ依リ歳出金ニ繰替使用シタル現金補填ノ爲ニスル支
出ニ付テハ翌年度四月三十日迄小切手ヲ振出スコトヲ得

第七條 毎年度ニ屬スル定額戻入ヲ爲スハ當該年度三月三十一日限トス
第八條 毎年度内ニ收入ヲ爲スベキ權利ヲ得テ當該年度内ニ收入済ト爲

ラザルモノハ收入未済トシテ遞次翌年度ニ繰越シ現ニ收入ヲ爲シタル
年度ノ歳入ニ組入ルベシ

第九條 毎年度内ニ支拂ヲ爲スベキ義務ヲ生ジ當該年度内ニ小切手ヲ振
出サザルモノハ支出未済トシテ遞次翌年度ニ繰越シ時効完成ニ至ル迄
ハ支拂ノ請求アル毎ニ小切手ヲ振出スベシ但シ支出未済ノ繰越額ハ支
出済額ト合シテ豫算定額ヲ超過スルコトヲ得ズ

第十條 本會計ノ保有スル米穀ノ價格ハ毎年度三月三十一日ニ於テ臺灣
ニ於ケル市價ニ準據シ之ヲ改定スベシ

第十一條 毎年度ノ歳入ノ收入済額及收入未済額、前年度ヨリ繰越シタ
ル支出未済額、收入済未渡米穀ノ價格及收入未済未渡米穀ノ價格、翌
年度ニ繰越シタル米穀ノ價格並ニ借入金償還額ノ合計額ヨリ歳出ノ支
出済額、支出未済額、收入済未渡米穀ノ價格及收入未済未渡米穀ノ價

格、前年度ヨリ繰越シタル收入未済額及米穀ノ價格並ニ借入金額ノ合計額ヲ控除シ殘餘アルトキハ之ヲ積立金ニ組入レ不足アルトキハ積立金ヨリ之ヲ補足スベシ

第十二條 貸借對照表、損益計算表及米穀在高明細表ノ様式ハ所管大臣大藏大臣ト協議シテ之ヲ定ムベシ

第十三條 臺灣總督府ハ日記簿、原簿及補助簿ヲ備ヘ本會計ニ關スル一切ノ計算ヲ登記スベシ

第十四條 支出官ハ支出簿ノ外支拂元受高差引簿ヲ備ヘ支拂元受高、支出濟額及殘額ヲ登記スベシ

第十五條 臺灣總督府ハ歲出簿ノ外支拂元受高差引簿ヲ備ヘ支拂元受高、支出濟額及殘額ヲ登記スベシ但シ支出官一人ナル場合ニ於テハ支拂元受高差引簿ヲ省略スルコトヲ得

第十六條 本令ニ規定セザルモノハ總テ臺灣總督府特別會計規則ノ例ニ依ル

附則

本令ハ昭和十四年度ヨリ之ヲ適用ス

訓令第 號(草案)

臺灣總督府

大正十三年訓令第百二號臺灣總督府官房並各局事務分掌規程中左ノ通改正ス

昭和十四年 月 日

臺灣總督

第十八條中「、水産課及米穀課」ヲ「及水産課」ニ改ム

第二十三條ノ四ヲ削ル

第三十條 米穀局ニ米穀事務所及其ノ出張所ノ外總務課、米政課及業務

課ヲ置ク

第三十一條 總務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 局内庶務ニ關スル事項

二 米穀移出管理ノ會計ニ關スル事項

三 臺灣米穀移出管理特別會計ニ屬スル營繕ニ關スル事項

四 米穀關係法規違反ノ取締ニ關スル事項

第三十二條 米政課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 米穀政策上諸般ノ調査ニ關スル事項

二 米穀ノ買入價格ニ關スル事項

三 米穀生産費等ノ調査ニ關スル事項

四 米穀統制法及米穀自治管理法ノ施行ニ關スル事項

五 米穀ノ取引、米穀關係同業組合及農業倉庫ニ關スル事項

第三十三條 業務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 米穀ノ買入及賣渡ニ關スル事項

二 臺灣米穀移出管理特別會計ニ屬スル米穀ノ輸送、貯蔵及加工ニ關スル事項

三 米穀ノ検査ニ關スル事項

四 米穀ノ加工、貯蔵及包裝ノ改良ニ關スル事項

訓令第 號(草案)

臺灣總督府

臺灣總督府米穀局米穀事務所及同出張所規程左ノ通定ム

昭和十四年 月 日

臺灣總督

臺灣總督府米穀局米穀事務所及同出張所規程

第一條 臺灣總督府米穀局米穀事務所及同出張所ニ於テハ左ノ事務ヲ掌

ル

一 米穀ノ検査、買入、輸送、貯藏、加工又ハ賣渡ノ現業ニ關スル事

項

二 前號ノ事務ニ屬スル庶務及會計ニ關スル事項

第二條 米穀事務所ニ所長ヲ置キ高等官又ハ判任官ヲ以テ之ニ充ツ
所長ハ上司ノ命ヲ承ケ所務ヲ掌ル
第三條 米穀事務所出張所ニ主任ヲ置キ判任官ヲ以テ之ニ充ツ
主任ハ上司ノ命ヲ承ケ所務ヲ掌ル

(参照)

大正十三年訓令第百二號

臺灣總督府官房並各局事務分掌規程抄

- 第十八條 殖産局ニ庶務係、特産課、農務課、商工課、山林課、鑛務課、
水産課及米穀課ヲ置ク
- 第十九條 庶務係ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一 局内庶務ニ關スル事項
- 第二十條 特産課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一 糖業ニ關スル事項
- 二 製糖場ノ取締監督ニ關スル事項
- 三 製糖工場財團及製糖工場抵當權ニ關スル事項
- 四 糖業改良獎勵補助ニ關スル事項
- 五 製糖機械器具ノ保管及貸付ニ關スル事項

- 六 無水酒精ノ製造計畫ニ關スル事項
- 七 無水酒精製造ノ指導監督ニ關スル事項
- 八 糖業試驗所ニ關スル事項
- 九 茶業其ノ他特ニ指定スル産業ニ關スル事項
- 第二十一條 農務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
 - 一 農業ニ關スル事項
 - 二 園藝ニ關スル事項
 - 三 蠶業ニ關スル事項
 - 四 畜産ニ關スル事項
 - 五 家畜衛生ニ關スル事項
 - 六 狩獵ニ關スル事項
 - 七 移民ニ關スル事項（漁業移民ニ關スル事項ヲ除ク）
 - 八 農會其ノ他ノ農業團體ニ關スル事項
- 九 土地改良ニ關スル事項（土木課ノ主管ニ屬スルモノヲ除ク）
- 十 山地開發ノ調査及計畫ニ關スル事項
- 十一 農業試驗所ニ關スル事項
- 第二十二條 商工課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
 - 一 商業ニ關スル事項
 - 二 工業ニ關スル事項
 - 三 博覽會、共進會及品評會ニ關スル事項
 - 四 陳列館ニ關スル事項
 - 五 臺灣物産紹介所ニ關スル事項
 - 六 同業組合（米穀關係同業組合ヲ除ク）、産業組合（市街地信用組合ヲ除ク）其ノ他ノ商工團體ニ關スル事項
 - 七 勞力ノ調査ニ關スル事項

八 工場財團及工場抵當權ニ關スル事項但シ他ノ主管ニ屬セシメタル
モノヲ除ク

九 臺灣拓殖株式會社ノ業務ノ監督ニ關スル事項但シ第十七條第八號
ニ掲グル事項

十 商工會議所ニ關スル事項

十一 物資需給調整ノ實行計畫ニ關スル事項

十二 生産力擴充ノ實行計畫ニ關スル事項

十三 物價調整ニ關スル事項

十四 工業研究所ニ關スル事項

第二十三條 山林課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 林野ノ取締保護及其ノ監督ニ關スル事項

二 民林ノ獎勵及其ノ監督ニ關スル事項

三 保安林、部分林ニ關スル事項

四 林產物處分ニ關スル事項

五 森林調査及造林ノ監督ニ關スル事項

六 營林ノ用ニ供スル國有林野ノ調査、計畫、實測、管理及經營ニ關
スル事項

七 森林施業案ノ實施ニ關スル事項

八 治水造林及造林ヲ伴フ山地砂防事業ニ關スル事項

九 臺灣樟樹造林獎勵規則ニ依リ所有權ヲ附與シタル土地及林木ニ關
スル事項

十 林業試驗所ニ關スル事項

第二十三條ノニ 鑛務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 鑛業ニ關スル事項

- 二 鑛物及地質ノ調査ニ關スル事項
 - 三 石油業法施行ニ關スル事項
 - 四 天然瓦斯研究所ニ關スル事項
 - 五 石油消費規正ニ關スル事項
- 第二十三條ノ三 水産課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 水産業ニ關スル事項
- 二 水産試験ニ關スル事項
- 三 海洋其ノ他水産ノ調査ニ關スル事項
- 四 水産會其ノ他ノ水産團體ニ關スル事項
- 五 漁港、漁船船溜及其ノ利用施設ノ獎勵補助ニ關スル事項
- 六 漁業移民ニ關スル事項
- 七 水産講習所ニ關スル事項

第二十三條ノ四 米穀課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 米穀ノ統制ニ關スル事項
- 二 米穀統制組合、地方米穀統制組合聯合會及米穀商統制組合ニ關スル事項
- 三 米穀關係同業組合ニ關スル事項
- 四 農業倉庫業ニ關スル事項
- 五 米穀統制資料調査ニ關スル事項